

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
JAPANサッカー カレッジ	平成14年1月9日	小出 隆一	〒957-0103 北蒲原郡聖籠町大字網代浜925番地2 (電話) 0254 (32) 5357			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 国際総合 学園	昭和32年10月10日	池田 弘	〒951-8065 新潟市中央区東掘通一番町494番地3 (電話) 025 (210) 8565			
目 的	2年間の現場実習やインターンシップを通して、サッカービジネスにおける基礎を身につける。また、実際にプロの現場で学ぶことにより卒業後に即戦力となる人材を育成する。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
スポーツ	文化・教養 専門課程	サッカービジネ ス科	2年：昼	2361時間	平成19年文部科学 省告示第20号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1136時間	0単位	0時間	3202時間	57時間	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
100人	51人	3人	3人	6人		
学期制度	■前期：4月12日から8月21日まで ■後期：8月23日から3月31日まで			成績評価	■成績表(有) ■A(優) B(良) C(可) D(不可) H(保留)	
長期休み	■夏季：8月1日から8月22日 ■冬季：12月12日から1月16日まで			卒業・進級条件	■要出席時間数80%以上出席 ■必要科目単位を全て取得 ■学費に未納がないこと	
生徒指導	■クラス担任制(有) ■長期欠席者への指導等の対応 保護者との連携			課外活動	■課外活動の種類 校外清掃(海岸清掃等) ■サークル活動(無)	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 ■就職率※188% ■卒業者に占める就職者の割合※2 100% ■その他(任意) (平成27年度卒業者に関する平成28年3月末時点 の情報)			主な資格・検定	■ビジネス実務マナー検定 ■ビジネス能力検定 ■簿記検定 ■JFAスポーツマネージャーズカレッジ サライト講座	

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 7名 ■中退率 7.9%</p> <p>平成27年4月1日在学者 88名（平成27年4月1日入学者含む） 平成28年3月31日在学者 81名（平成28年3月31日卒業生含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 経済的理由、進路変更</p> <p>■中退防止のための取組 個人面談・保護者との連携・スクールカウンセラーの活用</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.cupsnet.com/business.html</p>

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

JAPANサッカーカレッジ サッカービジネス科と(株)アルビレックス新潟が連携し、サッカー業界における優れた人材を育成することを目的とする。JAPANサッカーカレッジ サッカービジネス科が(株)アルビレックス新潟と連携し、外部実習等の様々な経験を通して優秀な人材を育成することで、在籍する学生自身にとって卒業後の就職先が広がるとともに、新潟県のみならず日本全体のサッカー業界を牽引していくことができるような関係を構築する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年9月30日現在

名 前	所 属
神田 勝夫	新潟県下越地区サッカー協会理事
岡田 朝彦	株式会社アルビレックス新潟育成統括部長
小出 隆一	JAPANサッカーカレッジ学校長
刀根 聡	JAPANサッカーカレッジ副校長
原 朋洋	JAPANサッカーカレッジ教務部長
森 俊輔	JAPANサッカーカレッジ事務局長
竹川 昌彦	JAPANサッカーカレッジ学科主任

(開催日時)

第1回 平成28年2月10日 16:00~17:00

第2回 平成28年9月7日 16:00~17:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実習において、(株)アルビレックス新潟のホームゲーム運営の業務に携わることで、サッカー業界における仕事の細部を知る。また、クラブ経営実践論では、(株)アルビレックス新潟における各部署より毎回講師を招聘し、クラブ経営・クラブ運営について学び、即戦力となる人材育成を目指す。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
アルビレックスホームゲーム実習	アルビレックス新潟のホームゲーム運営の各部署における業務の細部について実習を通して学ぶ。	(株)アルビレックス新潟
クラブ経営実践論	アルビレックス新潟の各部署より毎時間異なる講師を招聘し、アルビレックス新潟における経営について学ぶ。	(株)アルビレックス新潟

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教員自身の指導能力向上を目的とするとともに講習会内容を授業や実習、日頃の指導の中で活用する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年9月30日現在

名 前	所 属
神田 勝夫	新潟県下越地区サッカー協会理事/株式会社アルビレックス新潟取締役強化部長
岡田 朝彦	株式会社アルビレックス新潟育成統括部長
小出 隆一	JAPANサッカーカレッジ学校長
刀根 聡	JAPANサッカーカレッジ副校長

原 朋洋	J A P A Nサッカーカレッジ教務部長
森 俊輔	J A P A Nサッカーカレッジ事務局長
須崎 政幸	J A P A Nサッカーカレッジコーチ・審判専攻科／サッカーコーチ研究科主任
竹川 昌彦	J A P A Nサッカーカレッジサッカービジネス科主任
小澤 江里子	J A P A Nサッカーカレッジトレーナー専攻科主任
(学校関係者評価結果の公表方法) URL: http://www.cupsnet.com/pdf/02.pdf	
5. 情報提供	
(情報提供の方法) URL: http://www.cupsnet.com/pdf/04.pdf	

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 サッカービジネス科) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技
○			就職実務Ⅰ	自己分析を中心に、就職とは何かを考えさせ、就職に対する動機づけを行う。就職活動のマナーを知り、面接対策等を実施し、就職活動への準備を目的とする。	1 通	32		○		
○			就職実務Ⅱ	卒業後の進路（就職）についての方向性を明確にし、自己能力の長所と短所を分析しながら自己PR文作成等を行なう。	2 通	25		○		
○			英会話Ⅰ	テキストの内容に即しながら行う各講義で、それぞれの内容を理解しながら、年間を通じて学生が英語で会話することを旨とする。	1 通	32		○		
○			英会話Ⅱ	テキストの内容に即しながら行う各講義で、それぞれの内容を理解しながら、学生自らがその状況に応じた英会話ができるようになることを目的とする。	2 通	25		○		
○			ビジネス能力	ビジネスマナーや一般常識について、実践や実例を交えながらビジネスの基礎を学ぶ。ビジネス能力検定合格を目指す。	1 通	32		○		
○			商業簿記Ⅰ	会社経理の基礎を学び、適切な仕訳・各種帳簿の記入方法・決算整理・財務諸表作成ができるようにする。	1 通	64		○		
○			販売士	小売業の商業流通について学び、マーチャライジング、ストアオペレーションの知識やモノの流れを学ぶ。	1 通	64		○		
○			パソコン実習	映像編集ソフトなど様々なパソコンソフトを使用し、今後も活用できるであろうパソコンソフトの可能性を探る。	1 通	64		○		
○			Word実習Ⅱ	文章入力から編集の基礎を学び、一般的なビジネス文章（社外文章、社内文章、案内状など）を作成できるようにする。	2 通	25		○		

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 サッカービジネス科) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			Excel 実習Ⅱ	Microsoft Excel を使用した表計算の基礎を学び、Excel 検定 3 級取得を目指す。	2 通	25		○		
○			コミュニケーション スキル演習	自己紹介や挨拶等を通じ、コミュニケーションの大切さを知るとともに、基礎的なコミュニケーションスキルを習得する。	1 通	32		○		
○			ホームページ 作成実習	ホームページビルダーを使用し、ホームページ作成のための基礎を学ぶ。	1 通	32		○		
○			プレゼンテ ーション演 習	テーマについて情報収集し、自身の意見を論理的に伝える技術を獲得する。Power Point を使用しプレゼンテーションする。	2 通	25		○		
○			イベント企 画・実践Ⅰ	校内で行うイベントを企画し運営する。	1 通	64		○		
○			イベント企 画・実践Ⅱ	校外（地域）で行うイベントを企画し運営する。	2 通	50		○		
	○		企業研究	様々な業種の中から選定された業種（企業）についてグループで研究し、発表する。卒業後の就職を見据えてできる限りの情報を収集する。	2 通	2 0 3		○		
○			ホームルー ム	学科ホームルームの時間を利用し、学生自身が活動内容を報告・発表する。また、他の学生の活動状況を知ること、自分自身の今後の活動に活かす。	1 ・ 2 通	57		○		
○			NPO論	NPO（非営利組織）が社会から必要とされてきた背景や経緯、NPO に関連する概念の整理をし、NPO の現状について学ぶ。	1 通	32		○		

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 サッカービジネス科) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			地域ビジネススキル	主に聖籠町、新発田市、胎内市における地域での取り組みについて学ぶ。地域貢献活動をはじめ、商工会議所の活動についても学ぶ。	2 通	25		○		
○			クラブ経営実践論	アルビレックス新潟の各部署より毎時間異なる講師を招聘し、アルビレックス新潟における経営について学ぶ。	1 通	32		○		
○			クラブマネジメント	地域スポーツクラブが目指すクラブマネジメントについて、地域とのかかわり方やどのような手法が用いられているかなど実例をもとに学んでいく。	2 通	25		○		
○			スポーツマーケティング論	マーケティングの基礎的な概念・理論についての知識を深める。有形・無形を問わず、モノ・サービスを扱う仕事に必要な不可欠なマーケティングについて学ぶ。	1 ・ 2 通	57		○		
○			スポーツマネジメント	様々なスポーツイベント・大会運営の実例を参考にしながら、スポーツをより身近に感じてもらうためにどのような取り組みが必要と考えられるかを学ぶ。	1 ・ 2 通	57		○		
○			データ分析	サッカー競技において、瞬間瞬間に起こるあらゆるプレーについてデータ化し、チームあるいは個人のプレーの傾向について考察する。	1 ・ 2 通	57		○		
○			イベント実習	地域貢献活動の一環として、サッカーに関わらず地域のイベントに参加し運営に携わる。	1 ・ 2 通	2 2 8				○
○			企業体験実習(ビジネス実習)	アルビレックス新潟をはじめ、スポーツ関連企業(フットサル場、スポーツショップ)で実際に業務を体験する。	1 ・ 2 通	1 9 2 0				○
○			サッカー実技I	サッカーをプレーすることで競技ルールを学ぶとともに、選手の視点から見えるチーム運営等を学ぶ。	1 通	32				○

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 サッカービジネス科) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			サッカー実 技Ⅱ	サッカーをプレーすることで競技ルールを 学ぶとともに、選手の視点から見えてくる チーム運営等を学ぶ。	2 通	25				○
○			遠征	国内で行われる大会運営に携わり、現場で 学んだことを自分たちが企画するイベント に活かす。また国外遠征では海外スポーツ ビジネスについて見聞を広める。	1 ・ 2 通	2 5 6				○
○			アルビレッ クスホーム ゲーム実習	アルビレックス新潟のホームゲーム運営の 各部署における業務の細部について実習を 通して学ぶ。	1 ・ 2 通	2 2 8				○
○			イベント実 習	校内におけるホームゲーム運営を企画・運 営する。アルビレックス新潟ホームゲーム 実習で学んだことを活かした実践の場とす る。	1 ・ 2 通	4 5 6				○
		○	キッズ指導 実践	子どもとの関わりあいから、年少世代への 指導に必要な能力を育成し、JFA 公認キッ ズリーダーALL 取得を目指す。	1 ・ 2 通	1 1 4				○
合計					32 科目		4388 時間			